

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年4月18日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：松浦長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○松浦総務課長 それでは、皆様のお手元の広報日程に基づきまして、私の方から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.の（1）番、明日、水曜日の原子力規制委員会でございます。議題は5つございます。

まず、1番目ですけれども、こちらは日本原燃の加工事業の変更許可申請の審査書案を事務方が取りまとめましたので、この審査書案につきまして原子力規制委員会の了承を得るとともに、経済産業大臣への意見聴取についても、原子力規制委員会の了承を得るものでございます。

続きまして、議題の2番目でございます。議題の2番目は、こちらは本年の3月1日の原子力規制委員会におきまして、もんじゅと東海再処理施設についての廃止措置計画の認可の審査に関する考え方につきまして、事務方で案を取りまとめた上でパブリックコメントにかけたところでございます。

今般、パブリックコメントにつきまして、その取りまとめができましたので、それを踏まえて認可の審査に関する考え方等につきまして、原子力規制委員会の了承を得るものでございます。

続きまして、議題の3番目でございます。議題の3番目は、これも本年の3月29日の原子力規制委員会におきまして、九州電力・玄海原子力発電所1号機等の廃止措置計画に關します認可の認可書につきまして、原子力規制委員会で議論があったところでございます。特に燃料集合体の落下事故時における評価条件につきまして、委員の方から指摘があったところでございます。

今般、この指摘を踏まえて、改めて評価につきまして修正したものを原子力規制委員会にお諮りして、認可についても改めて御了承を得るものでございます。

続きまして、議題の4番目でございます。議題の4番目は、平成28年度の核物質防護、いわゆるPPに關します検査結果と平成29年度の当該検査の重点項目につきまして、原子力規制委員会に報告するとともに、了承を得るものでございます。

最後になりますが、議題の5番目でございます。議題の5番目は、IAEAで行われました

原子力の安全に関する条約第7回検討会合、本年の3月27日～4月7日にかけて行われましたけれども、こちらの結果の概要について報告するものでございます。

続きまして、2ページ目、4月20日木曜日、(3)番目の審査会合でございます。こちらの審査会合の議題につきましては、3つございます。

まず、1番目は、九州電力の玄海発電所3号機、4号機につきまして、工事計画認可の補正が4月7日に提出されましたことから、今回、工事計画につきまして、審査会合で九州電力の方からお話を伺う予定でございます。

2番目の議題です。こちらは関西電力の高浜発電所3号機、4号機につきまして、いわゆる第3電源についての設置変更許可申請が提出されたところでございます。この件に関して関西電力の方からお話を伺う予定でございます。

最後になりますが、議題の3番目は、日本原電の東海第二発電所につきまして、非難燃性ケーブルについて、日本原電の方からお話を伺う予定でございます。

続きまして、4月21日金曜日、(4)番の審査会合でございます。議題といたしましては、四国電力・伊方発電所3号機につきまして、いわゆる地盤の審査でございます。特重施設に関します審査のため、非公開ですけれども、地盤の安定性について、初回の議論を行う予定でございます。

続きまして、2ページ目、4月25日火曜日、(7)番、第3回の緊急時活動レベルの見直し等への対応に係る会合でございます。こちらは、前回、4月13日の会合におきまして、事業者からEALの見直し等への対応につきまして御意見を伺ったところでございます。この御意見を踏まえまして事務方でEALの見直しについて案を作りましたので、その案について説明するとともに、事業者から改めて意見を伺う予定でございます。

私からは以上です。

<質疑応答>

○司会 いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ナガマツさん。

○記者 西日本新聞社のナガマツと申します。

4月20日に九州電力の玄海3・4号機の工認の補正についての公開審査が入ったかと思うのですが、これは、これまで工認についてはヒアリングでやってきていると思うのですが、公開審査でやる何か特段の事情みたいなものがあるのでしょうか。

○松浦総務課長 他の発電所も、工認についてはタイミングを見計らって公開審査でやりますので、通常の手続きと考えるといただければよろしいかと思います。

○記者 分かりました。ありがとうございました。

○司会 ほかにございますでしょうか。ハナダさん。

○記者 NHKのハナダです。

明日の定例会の議題の3番目なのですけれども、3月29日ですか、1回説明されていると思うのですけれども、明日は一般公衆の実効線量の評価の部分を出して基本的に説明して、そのほかは前回と同じような流れになるのでしょうか。

○松浦総務課長　そうですね。前回、委員の方から質問があって、うまく答えられなかったと。特にPWRとBWRについて、評価の前提条件が少々違っているということがございましたので、その点について、まず、どうして違うのかという説明をした上で、表現の修正もした上で改めて御了承願うと、そういうふうな段取りになっております。

○司会　ほかにございますでしょうか。よろしいですか。ツカハラさん。

○記者　電気新聞のツカハラです。

今日、国会同意人事で規制委員の人事が示されましたが、まだこれから国会プロセスがあるところではあるのですけれども、事務方としての受けとめというのが何かございましたら、お願いします。

○松浦総務課長　これは国会同意人事で、官邸が本日、国会の方に提出されたことですので、そういった意味で、我々の上司を決める人事案ですので、我々の上司についてのコメントは通常されないと思いますし、皆さんも多分、組織の方ですと、自分の社の社長の人事について、こういうところ、この場で何かコメントするということはまずあり得ないと思いますし、大体そういったコメントは赤ちょうちんですするというのが普通だと思いますので、特に我々からコメントはございません。

○司会　ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—